

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年12月19日（木）

2 確認箇所

- ・ 1 / 2号機共用排気筒（1 / 2号機開閉所前から確認）
- ・ 一時保管エリアAA及びP1

3 確認項目

- (1) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況
- (2) 一時保管エリアAA及びP1の現況

4 確認結果の概要

(1) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2号機共用排気筒解体作業は本年8月1日から作業を実施しており、排気筒上部の約60mを23ブロックに分けて解体する計画のうち、1～4ブロック目までの解体を12月4日までに完了している。

5ブロック目の解体作業が12月16日から開始され、本日（12月19日）、完了したことから状況を確認した。

- ・ 現場確認時（9時20分頃）、5ブロック目の解体片は2号機原子炉建屋の西側ヤードに仮置きされていた。（写真1）
- ・ 東京電力によると、本日7時2分に筒身の切断が終了したとのことであった。



(写真1-1)

5ブロック目解体後の筒頂部の状況



(写真1-2)

5ブロック目の仮置き状況

(2) 一時保管エリアAA及びP1の現況について

フランジ型タンクの解体片については、当初、除染を行わずに切断し、切断片をコンテナへ収納して一時保管エリアP1において保管していたが、平成30年5月の大型機器除染設備運用後は、当該設備で解体片を除染した後に切断し、切断片をコンテナに収納して一時保管エリアAAで保管していることから、一時保管エリアAA及びP1の現況を確認した。(図1)

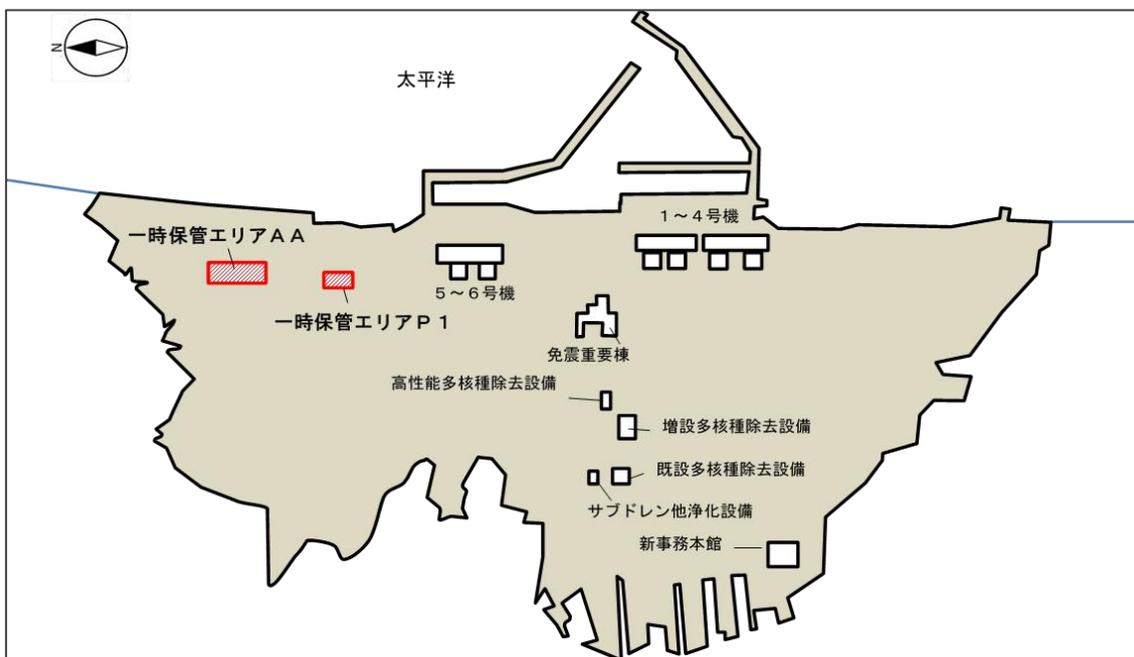
(前回確認：平成30年11月19日)

ア 一時保管エリアAAの現況

- ・20フィートコンテナ(長さ約6.1m×幅約2.4m×高さ約2.6m)が1～4段積み(計画は4段積み)で保管されていた。保管されているコンテナの外観に破損や腐食等は確認されなかった。(写真2)
- ・エリア内に保管されているコンテナは約300個であり、保管スペースには余裕が見られた。(写真2)

イ 一時保管エリアP1の現況

- ・20フィートコンテナが1～4段積み(計画は4段積み)で保管されていた。一部を除き、コンテナの側面は筋交いによる転倒防止対策が講じられていた。なお、保管されているコンテナの外観に破損や腐食等は確認されなかった。(写真3)
- ・エリア内に保管されているコンテナは約600個であり、一時保管エリアAAと同様に保管スペースには余裕が見られた。(写真3)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 2-1)
一時保管エリア AA のコンテナ保管
状況① (エリア北側)
(前回撮影：平成 30 年 11 月 19 日)



(写真 2-2)
一時保管エリア AA のコンテナ保管
状況① (エリア北側)
(今回撮影：令和元年 12 月 19 日)



(写真 2-3)
一時保管エリア AA のコンテナ保管
状況② (エリア南側)
(前回撮影：平成 30 年 11 月 19 日)



(写真 2-4)
一時保管エリア AA のコンテナ保管
状況② (エリア南側)
(今回撮影：令和元年 12 月 19 日)



(写真 2-5)
一時保管エリア AA のコンテナ保管
状況③ (エリア南東側)
(前回撮影：平成 30 年 11 月 19 日)



(写真 2-6)
一時保管エリア AA のコンテナ保管
状況③ (エリア南東側)
(今回撮影：令和元年 12 月 19 日)



(写真3-1)
一時保管エリアP1のコンテナ保管
状況① (エリア南西側)
(前回撮影：平成30年11月19日)



(写真3-2)
一時保管エリアP1のコンテナ保管
状況① (エリア南西側)
(今回撮影：令和元年12月19日)



(写真3-3)
筋交いによる転倒防止対策の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。